

岩手大学教育学部附属特別支援学校

研究テーマ

「児童生徒の確かな力を育む学びを目指した授業づくり」
(2年次研究の2年目)

1 校内研究

(1) 研究の目的

本校の「育成を目指す資質・能力」を明らかにし、教科等横断的な視点で教育課程を見直し、生活場面で発揮できる確かな力の育成を目指す。

(2) 研究の内容と方法

- ① 児童生徒にどのような力を育ていきたいのかという学校としての「育成を目指す資質・能力」を明確にする。
- ② 「育成を目指す資質・能力」を育めるように教科等横断的な視点で単元構想シート、各教科等関連表を活用しながら教育課程(年間指導計画)を見直す。
- ③ 見直しを図った教育課程(年間指導計画)を基に授業実践を行う。

(3) 研究の実際(2年次)

- ① 研究の1年次に検討した本校の「育成を目指す資質・能力」の確認及び共有。
- ② 児童生徒の学びがつながるように各教科等を合わせた指導と教科別の指導の学習内容の配列を検討し、「各教科等関連表」を作成。
- ③ 「各教科等関連表」と「単元構想シート」を活用し関連する各教科等を合わせた指導と教科別の指導の授業実践。

(※単元構想シートは単元が始まる前に児童生徒の一人一人の学びを明らかにし、指導計画を立てるためのツールである。岩手大学教育学部プロジェクト推進支援事業教育実践研究論文集 7. 1135 - 140)

④ 全校授業研究会(教科別の指導)

- ・第1回全校授業研究会(7月)
中学部 おもしろ学習3組(国語・数学)
単元名 「注文販売に向けて学習しよう」
- ・第2回全校授業研究会(7月)
高等部 トライ学習1組(数学)
単元名 「買い物をして、スイーツを作ろう」
- ・第3回全校授業研究会(7月)
小学部 1・2年体育
単元名 「マット運動をしよう」

⑤ 第23回学校公開研究会(合わせた指導)

- 小学部 3・4年生活単元学習
単元名 「『すみれのもり』をつくろう」
- 中学部 作業学習(園芸班)
単元名 「注文販売をしよう～『リンゴジャム』100個つくろう～」
- 高等部 作業学習(陶芸班)
単元名 「2月販売会に向けてカップを作ろう～2月ガンフ工房販売会を成功させて一年間を締めくくろう～」

(4) 研究のまとめ

「育成を目指す資質・能力」を明らかにしたことで本校の学校教育目標に示された「主体的に活動する姿」が具体的なものとして職員間で共有することができた。また、「各教科等関連表」を作成したことで、学習内容の関連を授業者が意図しながら授業づくりを行えるようになった。さらに「育成を目指す資質・能力」「各教科等関連表」「単元構想シート」を組み込んだことで授業づくりを中心としたカリキュラム・マネジメントを確立できた。今後は「育成を目指す資質・能力」に基づく授業実践の積み重ねの検討や作成に時間を要する単元構想シートの実際的な活用方法を探っていきたい。

2 講演会

演題:「発達障害と愛着障害」

講師:岩手大学教育学部 准教授

滝吉美知香 氏

期日:令和3年8月2日(月)

3 研修会

○研修報告会

- ・盛岡ひがし支援学校
岩手県高等学校教育研究会特別支援教育
部会講演会
- ・福島大学附属特別支援学校
動画配信による学校公開

4 刊行物

研究紀要 第26集

児童生徒の確かな力を育む学びを目指した授業づくり